

事業実績シート

1 事業の概要

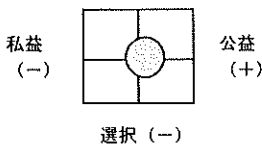
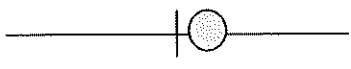
協会事業名	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	第37回長与川まつり			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	長与町	建設産業部 産業振興課	神崎 勇典	095-883-1111
事業期間	開始年	平成18年 8月 日 (11年目)		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	(開始日) 29年 8月 20日 (完了日) 29年 8月 20日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	住民 まつり来場者		長与川まつりを開催し、住民に参加してもらうことでふるさとづくりの推進と長与川を愛護する意識の高揚を図る。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	午前中は神事及び町民ボランティア等による長与川の清掃活動を行う。 夕方からは会場を移しステージイベント及び花火大会を行う。 本年度はイベント構成を変更し、集客向上を図った。 また、町内団体のボランティアによる会場内でのゴミ分別収集を行った。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	町内人口が急増し、町の生活用水として利用されている長与川の水が汚れている時期、長与川をもっと大事にしようという目的で神事や川の清掃等を行い、夏まつりも併せて開催することで長与川への感謝の気持ちと川を愛護する意識を高揚するために開始された。			
	(経緯・現状)			
	毎年8月下旬に開催している。 主催者は青年協会、商工会、町(実行委員会)と変わってきているが、町のイベントでは最大規模の集客数を誇るイベントとして住民の間にも定着している。			

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		4,000,000	4,000,000	4,000,000（見込）				
（財源内訳）	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金	2,000,000	2,000,000	2,000,000				
	一般財源	4,000,000	2,000,000	2,000,000				
成果（活動）指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	集客数	まつり会場への来場者数	人	目標	20,000	20,000	20,000
					実績	25,000	25,000	30,000
				目標達成率（％）	125	125	150	
	②				目標			
					実績			
目標達成率（％）								

3 事業の振り返り

必要性の点検	（1）公共性評価		必需（+）  私益（-） 公益（+） 選択（-）
	（公益性） <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	（必需性） <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	（2）行政関与の妥当性評価 妥当性低い 妥当性高い （-） 0 （+） 	（3）廃止又は休止した場合の影響 （影響内容、程度等） 町内でのイベントとしては最大の集客数を誇るものであるため、廃止又は休止した場合、本町の観光客数が大きく減少することとなる。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		目標値を上回る来場者数となったため。
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由) イベント内容の再検討や地域団体の参加等、集客数向上のための工夫の余地はあると思われる。
	実施予定 期 日	平成 30 年度	
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)	
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない		町で行う夏まつりとしては唯一のものであるため、統合は不可能と考えられる。	
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		企画運営に関しては町を事務局とする実行委員会で行っており、民間への委託は妥当でないと考えられる。
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		平成 23 年度より、会場内出店業者からの出店手数料を見直すことで歳入を確保していたが、再度見直しを図ることで確保は可能と考える。	

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下		<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	町の業催事として今後も継続して行っていく予定。				